


SPACE 京都通信 2018 年 6 月号

606-8243 京都市左京区田中東高原町 28-1 SPACE 京都

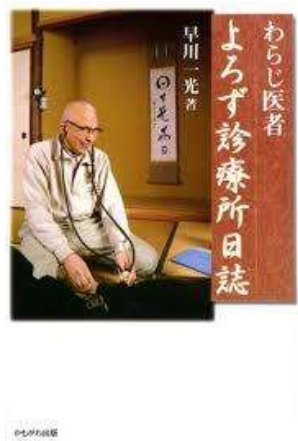
電話：075-781-9699 FAX:075-71-2219 E-mail:lifelong@live.jp

ラウンドテーブル会議＜地域振興を支える地域福祉＞

文化首都をめざすなら 地域振興を

地域振興をめざすなら地域福祉の充実を！

ウエルビーングライフ推進プロジェクト発進



玉川和子・京都文教短期大学名誉教授 故早川一光先生の本（かもがわ出版）

日時：2018年6月21日（木）18時半

会場：同志社大学志高館 288号室 参加費：無料 定員：30人

プログラム；

報告1 「KBS 京都ラジオ番組＜早川一光の人間万歳 土曜講座 20年＞

玉川和子・京都文教短期大学名誉教授・元京都府栄養士会会長

報告2 「堀川病院 50年—医療関係者と地域民の協働」

木村誠一・堀川病院 OB

報告3 「いま地域福祉に向き合うとき一見えにくい課題への対応」

藤田友輝（理学療法士）

トーク：これからの西陣の課題を考える 参加者全員

コーディネーター：富士谷あつ子・評論家・京都文化創生機構理事長

趣旨：京都文化創生機構では、「上京葎屋町通り近辺のく学びどころ創りどころ創生プロジェクト 2018」の講座を開催中である。この地域に惹かれる新住民が提案した地域振興を目指している。しかし、その前提として西陣の歴史、とりわけ和装産業のメッカであった地域での働き手の厳しいらしとその克服に尽力した人々について知る必要がある。かたわら、今後は問題点の所在が把握しにくくなっており、医療・福祉専門職の方々と地域の人々との交流の深化が期待される。

6月はじめに逝去された『わらじ医者京日記』などで知られた医師、故早川一光先生を偲びつつ、ウエルビーングライフの実現をはかることとする。



会場：同志社大学志高館（烏丸今出川上る東側）

地域福祉の基盤となる大きな課題について考えよう

それぞれの地域福祉の課題の背景に、国や地方自治体による大きな課題が横たわっている。日本は先進国中、女性議員の比率が衆院 10.1%、参院 20.6% であり、議会の国際的組織「列国議会同盟」がまとめた各国国会の女性比率（下院）によれば、193 カ国中、160 位と最低レベルである。「政治分野の男女共同参画推進法案（候補者男女均等法）が国会で成立したが、フランスの男女平等法（パリテ法）のように、均等に違反した場合の罰則規定がない。各党のジェンダー平等観を把握しやすくなるという一歩前進というところである。

さて、ジェンダー平等を希求しつつ生き、研究に従事してきた研究者も、「わがこと」としてジェンダー平等に関する問題を論考し、状況改善への実践をはかるべきであろう。

京都文化創生機構は、1970 年設立の女性のための生涯教育団体を前身とし、これを基盤に諸種の文化団体や学会を独立させる中で、文化庁支援事業受託を重ねた実行委員会から改組・改称されて発足した団体である。この経緯を踏まえ、改めて国や自治体にかかわる課題に向き合うフォーラムを開催する。



フォーラム 男女平等の実現と少子化抑止への対応

日時：2018年7月21日（土）13時（開場：12時）

会場：同志社大学志高館1F SK118号室 定員：150名

参加費：社会人500円 学生無料

主催：京都文化創生機構 協力：同志社大学

主催者挨拶：富士谷あつ子（評論家・京都文化創生機構理事長）

報告：生き方多様化時代の選択

報告1 「ライフプランを考えると」 藤田友輝（理学療法士）

報告2 「仕事・子育て・介護の中で」 斎藤真緒（立命館大学教授）

報告3 「女性のキャリア形成教育の実践」 西尾亜希子

（武庫川女子大学准教授）

報告4 「男性の生き方を考える」 伊藤公雄（京都大学名誉教授）

講演：「福井における少子化克服—人口減危機回避からの出発」

講師：塚本利幸（福井県立大学教授）

パネル討論：

コーディネーター：上杉孝實（京都大学名誉教授）

コメンテーター：新川達郎（同志社大学大学院教授）

西野悠紀子（女性史総合研究会「女性史学」編集長）

総合司会：後藤安子（京都光華女子大学講師）

後援：内閣府男女共同参画局 京都府 京都市 京都府教育委員会 京都市教育委員会

京都商工会議所 （一社）京都経済同友会 京都新聞 京都新聞社会福祉事業団

日本ジェンダー学会 京都橘大学女性歴史文化研究所 女性史総合研究会（以上予定）

助成：（公財）京都新聞社会福祉事業団 （公財）長谷福祉会 （公財）京都オムロン地域

協力基金（以上予定。京都新聞社会福祉事業団決定）

連絡先：606-8243 京都市左京区田中東高原町28-1 SPACE 京都

電話 075-781-9699 FAX:075-791-2219 E-mail:lifelong@live.ne.jp

発言者近影



富士谷あつ子氏
(評論家)



後藤安子氏
(元山手大学教授)



藤田友輝氏
(理学療法士)



斎藤真緒氏
(立命館大学教授)



伊藤公雄氏
(京都大学名誉教授)



西尾亜希子氏
(武庫川女子大学准教授)



塚本利幸氏
(福井県立大学教授)



上杉孝實氏
(京都大学名誉教授)



新川達郎氏
(同志社大学大学院教授)



西野悠紀子氏
(女性史総合研究会「女性史学」
編集長)

発言者略歴

富士谷あつ子：評論家。日本ペンクラブ名誉会員。京都大学農学部卒。博士（京都大学）。著書『三十歳からの出発』『生涯学習へのお別れ』他、編著『女性学入門』他。共編著『京都学を学ぶ人のために』他。第24回読売教育賞受賞。

後藤安子：元神戸山手大学教授。京都光華女子大学講師。関西大学法学部卒。女性の
人権相談、内外のDVに関する実情調査実施。共著『女性と法』、共訳書『女性は裁判
でどうたたかうか』。

藤田友輝：理学療法士。広島県立大学卒。京都市上京区を中心に活動し、ライフプラン
ニングに関する助言と施術を行う。上京区葭屋町地域振興プロジェクトに参画。

斎藤真緒：立命館大学教授。博士（立命館大学）、共編著『対人援助モデル研究』、共
著『ジェンダーで学ぶ社会学』。京都新聞「現代のことば」コラムニスト。男性介護
支援者に関する研究と提言。

伊藤公雄：京都大学・大阪大学名誉教授。京都産業大学教授。内閣府男女共同参画基
本問題専門委員会委員。（一社）ホワイトリボンキャンペーンジャパン共同代表、
著書『男性学入門』。共編著『女性学・男性学 ジェンダー論入門』

西尾亜希子：武庫川女子大学准教授。PhD（ロンドン大学）。武庫川女子大学卒業後、英
国留学。金融教育による女性の地位向上研究。西宮市男女共同参画懇話会委員。共著
『アジアの中のジェンダー』

塚本利幸：福井県立大学教授。京都大学文学部博士課程後期修了。日本ジェンダー学会
事務局長兼副会長。福井市男女共同参画審議会委員。共著『男女共同参画の実践』
論文「ボランティア参加とジェンダー」他。

上杉孝實：京都大学名誉教授。元日本社会教育学会会長。世界人権問題研究センター
客員研究員。著書『現代文化と教育』、共著『大卒女性100万人時代』他。

新川達郎：同志社大学大学院教授。早稲田大学博士課程後期修了。産官学民の協働に
関する指導を中心とする活動推進。著書『NPO と法・行政』『自治体の行政改革第二
ステージ』他。

西野悠紀子：女性史総合研究会「女性史学」編集長。（公財）古代学協会講座講師。
共著『歴史の中の皇女たち』、論文「古代における人口政策と子ども」他